

【 マツタ工業 株式会社 】

最新のマシニングセンタを導入し
大型金型製造のトップメーカーへ

大型金型メーカーとして高い評判を誇る同社。顧客からさらなる大型化・高精度化を求められ
その対応に苦慮していましたが、最新の大型立型マシニングセンタがその課題を解決しました。



1メートルもの大きさ
の金型も加工できる。



プログラムを呼び出せば機械の担当者に限らず操作が可能。



設備投資と合わせて
作業者の技術向上
と育成にも力を入
れている。

ものづくり
補助金活用
ココが
ポイント!



加工時間が約**40%**短縮

既存のマシニングセンタでは80時間かかっていた金型の加工が50時間に短縮。加工精度も向上したことで後工程である仕上げ時間も大幅に短縮することができました。



新たな制御システムによって高速でも表面の仕上がりが滑らかになり、仕上げの磨き作業が減少。

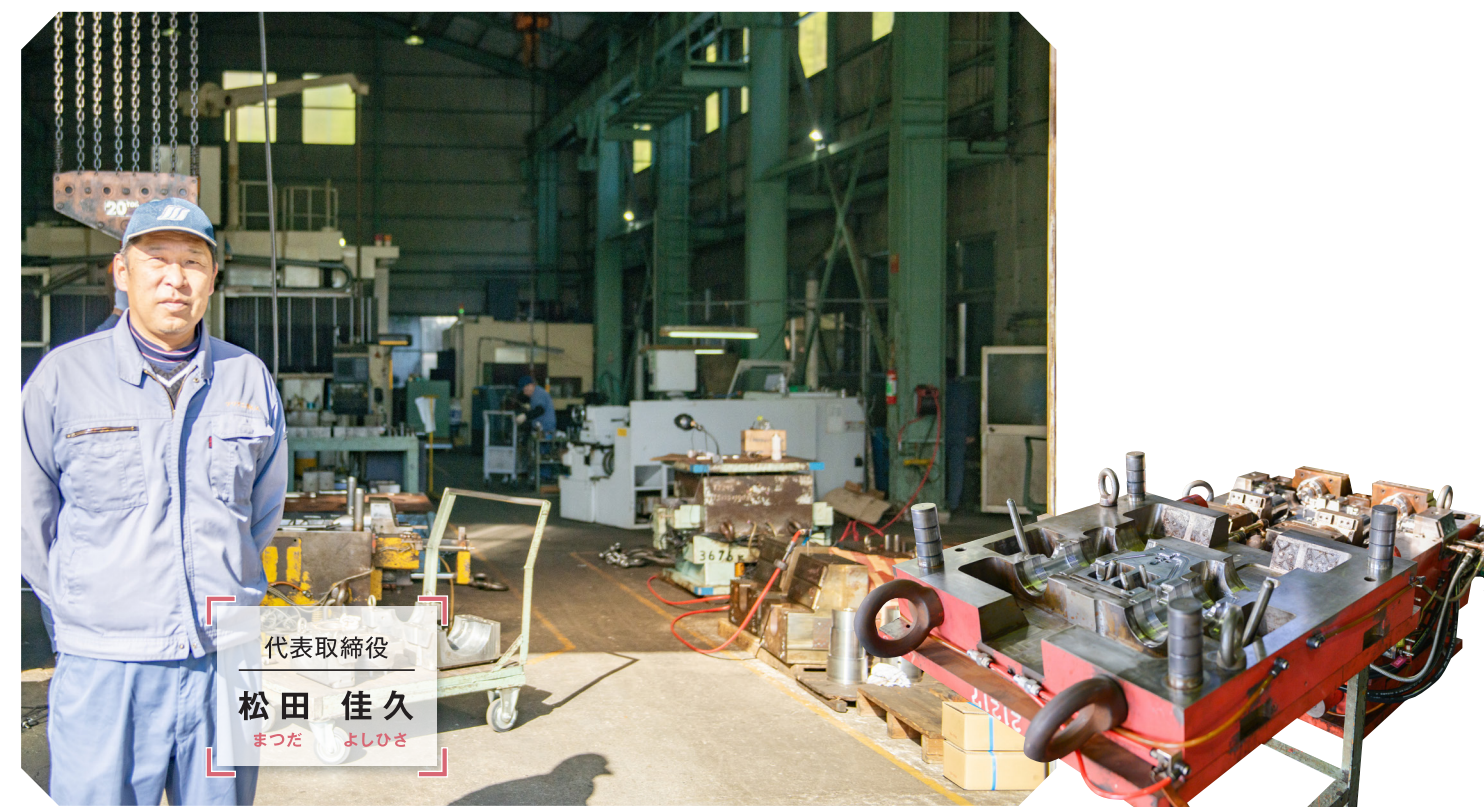


ものづくりへの想い

良い職人さんは、「まだまだです」とよく口にするのですが、最高のものをつくるために常に追究し続けているんです。そうやって生涯現役で挑戦し続けられるところがものづくりの良いところではないでしょうか。

今後の展望

各分野に沿った形でさらに設備投資を進めて、できるところは自動化を図っていくつもりです。それと並行して、技術者をしっかりと育成していきたいと考えています。人あつての機械ですからね。



代表取締役

松田 佳久
まつだ よしひさ

大型化が進む金型をこれまでより
低コスト・高精度で製作

九州圏内でも屈指の大型工作機械を揃えた機械加工業者である同社。加工の6割を金型製作が占めており、大型金型の製造を得意としています。

「金型は、製品の産みの親」と言われるほど重要な物で、私たちの身の回りにある部品はすべて金型を使用してつくられていると言っても過言ではありません。当社は、金型を通じて社会貢献ができることに誇りを持っており、得意とする大型金型製造のトップメーカーを目指して邁進しています」

すでに「大型金型ならマツタ工業」との評判を得ていた同社ですが、金型の高精密化・複雑化・大型化が進むにつれて課題を抱えるようになりました。

既存のマシニングセンタでは、サイズの精度にも対応できず、手作業で仕上げをせざるを得ない状況が増えていったのです。

「とにかく加工に時間がかかっていました。注文が混み合った場合には外注や残業で対応しなければならい場合が失注してしまうこともあったんです」

そんな状況を一変させたのが、ものづくり補助金を利用して導入した最新鋭の立型マシニングセンタでした。

「これまでは対応するのが難しかった大型の金型もこの機械一台で製作できるようになり、作業効率も精度も格段に向上しました。今後は、これまで主としてきた樹脂金型に限らず他分野へも進出していければと検討しています」

case
04 生産用機械器具製造業
マツタ工業 株式会社

設立：1966年
代表取締役：松田 佳久
資本金：1,000万円 従業員：49名
事業内容：大型金型の設計・製作、
金型メンテナンス等

〒882-0007
宮崎県延岡市桜ヶ丘町3丁目7094番地2
TEL.0982-21-1427
FAX.0982-31-1233

<http://www.matsuta.sakura.ne.jp/>

